平 成 28 年 度 事 業 報 告 書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までに行った事業の概要は、次のとおりである。

1. 会　員（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区　　分	平成 28 年度 会員総数	平成 27 年度 会員総数	平成 28 年度 入会者数	平成 28 年度 退会者数	前年度比
正会員（営利法人）	１３６	１３８	2	4	（－　２）
（公益法人）	１６	１６	0	0	（　０）
（個　　人）	３２１	３３９	１２	３０	（－　１８）
公共会員	２８	３２	0	4	（－　４）
学生会員	8	7	4	3	（　１）
賛助会員（法　人）	１４	１７	0	3	（－　３）
合　　計	５２３	５４９	１８	４４	（－　２６）

2. 運営に関する会議

2.1 総　会

会　議　名	開催日時,場所	議　　題	出　席　者
定期総会	平成 28 年 5 月 26 日（木） 17：30 ～ 18：40 中央大学　駿河台記念館 320号室（東京）	１．報告事項 第１号報告　代表理事の変更について 第２号報告　平成 27 年度表彰について 第３号報告　平成 28 年度事業計画及び予算書について ２．審議事項 第１号議案　平成 27 年度事業報告書（案）及び正味財産増減計算書（案）について	出 席 者 数 313 人 書面決議書 112 人 委任状提出 177 人 出　　席　24 人 (正 会 員 数 493 人)

2.2 理事会

会　議　名	開催日時,場所	議　　題	出　席　者
第１回 理事会	平成 28 年 4 月 25 日（木） 14：00 ～ 16：30 本協会 会議室（東京）	１．審議事項 第１号議案　総会欠席者への書面決議および委任の可否について 第２号議案　総会資料について 第３号議案　平成 28 年熊本地震への対応について 第４号議案　臭気対策新資格認定事業に関する検討委員会設置の提案について 第５号議案　会員の入会について ２．報告事項 第１号報告　事務所移転の進捗について	出席者数 11 人 （理事総数 13 人）

会　議　名	開催日時,場所	議　　題	出　席　者
第２回 理事会	平成 28 年 10 月 31 日(月) 14：00 ～ 17：00 新陽ビル 509 号室（東京）	１．審議事項 第１号議案　役員改選について 第２号議案　日本学術会議より通知を受けたこのとについて 第３号議案　協会法人化 30 周年記念について 第４号議案　東京都の助成金（在宅勤務）について 第５号議案　会員の入会申請について ２．報告事項 第１号報告　一般財団法人海外産業人材育成協会の依頼業務について 第２号報告　新資格（進捗状況） 第３号報告　協会の収支状況について 第４号報告　執務執行状況報告について	出席者数 11 人 （理事総数 13 人）
第３回 理事会	平成 29 年 3 月 27 日（月） 10：00 ～ 12：20 新陽ビル 509号室（東京）	１．審議事項 第１号議案　理事立候補者と名簿について 第２号議案　代表理事の選出方法について 第３号議案　人事について 第４号議案　事業の価格改定について 第５号議案　表彰について 第６号議案　平成 29 年度事業計画及び予算について 第７号議案　会員の入会申請について ２．報告事項 第１号報告　第 11 回みどり香るまちづくり企画コンテスト表彰式について 第２号報告　代表理事の職務執行状況報告について	出席者数 12 人 （理事総数 13 人）

2.3　運営検討会議

開催数	開催日時,場所	議　　題	出　席　者
第１回	平成 28 年 4 月 21 日（木） 17：30 ～ 20：30 （協会）	協会運営に係る諸問題について	出席者５人
第２回	平成 28 年 10 月 3 日（月） 15：30 ～ 17：30 （協会）	〃	出席者５人
第３回	平成 29 年 1 月 23 日（月） 10：00 ～ 12：00 （協会）	〃	出席者６人

開催数	開催日時,場所	議　　題	出　席　者
第４回	平成 29 年 3 月 10 日（金） 15：00 ～ 17：00 （協会）	協会運営に係る諸問題について	出席者６人

3.　事業報告

3.1　公益目的事業１「普及・啓発・研究事業」

3.1.1　学会業務

におい・かおり環境学会（第 29 回）を、環境省及び板橋区の後援をいただき、平成 28 年 8 月 30 日（火）、31 日（水）の 2 日間で、東京・東京家政大学 板橋キャンパスにおいて開催した。同学会は、様々なにおい・かおりに関する研究や調査等に携わっている国内外の研究者、事業者、行政担当者等が一堂に会してその成果を発表すると共に、最新情報を収集する場として、毎年開催している。

学会初日は台風の影響を考慮し、学会開会時刻を遅らせて開催した。参加者は延べ人数 234 人（平成 27 年度 240 人）であった。

学会開催期間中、測定機器・脱臭装置等の機器展示会を開催したが、学会の口頭発表の場で機器展示企業が、展示機器や業務内容に関するプレゼンテーションをおこなった。

また、学会参加者が互いに交流する場として、8 月 30 日に懇親会を開催した。8 月 31 日は学会参加者の投票によって選ばれた口頭発表及び、ポスター発表部門のベストプレゼンテーション賞の表彰を行った。

3.1.2　広報・出版業務

機関誌や書籍の出版を通じて、におい・かおりに関する調査・研究や悪臭対策技術の開発、行政の動向等に関する最新情報を社会に広く発信した。また、においで困っている一般の方に対して、基礎知識、におい・かおりに関する最新情報やイベント等の開催情報等の発信を目的として、以下の業務を行った。

a)　機関誌

「におい・かおり環境学会誌」を平成 28 年 5 月から隔月年 6 回（№247～252）発行し、会員に配布した。

(特集タイトル)

№247…悪臭防止法対象外の悪臭、№248…室内のにおい、№249…中国における悪臭、№250…加熱と香気成分（Part1）、№251…加熱と香気成分（Part２）、№252…最近のトイレ事情

b)　書籍出版

におい・かおりに関する基礎知識、嗅覚測定法等の測定技術、悪臭対策技術等の書籍 14 種類を累計 1,406 冊（平成 27 年度 1,363 冊）販売した。

c) ホームページ

におい・かおりに関する最新情報やイベント等の開催情報等を掲載した。

3.1.3 人材育成業務

においかおり環境に関わる人材を育成するため、嗅覚測定法や測定精度の管理、臭気対策等の知識の普及を目的とした研修会・講習会・セミナーを開催すると共に、臭気指数や臭気強度の測定精度向上を目的とした技術研究会を開催した。

a) 臭気対策セミナー

事業者や臭気判定士、行政担当者等を対象に、臭気対策を中心とした知識の普及等を目的とした、臭気対策セミナーを平成 29 年２月１日（水）、２日（木）の２日間、東京・オリンピック記念青少年総合センターで開催した。第１日目のテーマは「悪臭防止行政の今後の動向と脱臭装置の基本」、第２日目のテーマは「住宅におけるにおい問題と対策の進め方」であり、参加人数は 81 人（平成 27 年度 96 人）であった。

b) 臭気判定技術講習会

臭気判定士が有するべき知識の普及等を目的として、臭気判定技術講習会を東京、大阪で開催した。東京は平成28年９月５日（月）から８日（木）の4日間、機械振興会館において、大阪は平成28年９月26日（月）から29日（木）の４日間、マイドームおおさかにおいて、開催した。受講人数は延べ70人（平成27年度63人）であった。各コースの受講者数の内訳は下表のとおりである。

また、分析統計概論については、インターネットを用いて受講できるEラーニングの運用を８月１日より11月30日までの間実施したが、受講人数は24名であった。

コース（定員）	東京	大阪
分析統計概論	25 人（28 人）	17 人（11 人）
悪臭測定概論＋嗅覚測定法の概要	31 人（32 人）	20 人（18 人）
悪臭防止行政	27 人（29 人）	22 人（18 人）
嗅覚概論	30 人（31 人）	19 人（17 人）
分析統計概論 E ラーニング	24 人（25 人）	

※（　）内は、前年の受講者数

c) 臭気強度研修会

臭気対策・においの判定に必要な臭気強度やにおい質の判定は、個人間のバラツキ、同一人物でも測定毎のバラツキがある。そこで、信頼性が高く安定した評価ができる人材を育成することを目的として、実技研修を行う臭気強度研修会を平成 28 年度１回開催した。

事務所移転の関係で、平成 28 年度は１回のみの開催となったため、参加人数は５人（平成 27 年度４回開催 20 人）であった。

d) 臭気指数研修会

現在、においの評価方法として採用されている臭気指数に関する知識の普及と実際の運用方法を学ぶことにより、正しい臭気指数の測定ができる人材を育成することを目的とした、臭気指数研修会を平成 28 年度は１回開催した。

事務所移転の関係で、平成 28 年度は１回のみの開催となったため、参加人数は４人（平成 27 年度４回開催 23 人）であった。

3.1.4 測定精度確保業務

臭気に関わる測定精度を担保すると共に、さらなる精度向上を目的として、以下に述べるような測定事業所の審査・認定業務、嗅覚測定用器材に対する推奨マークの発行業務、技能研修会の開催などの業務を行った。

a) 臭気測定認定事業所に関する審査・認定

臭気に関わる測定精度の一定水準の確保、安全な測定が可能な事業所を協会が審査・認定する業務である。審査での必須項目は、組織の整備、人材の確保、必要な器材及び試験室の装備である。審査登録制度は、5 年毎に更新申請を受け付けており、平成 28 年度は第 2 種の 17 事業所が更新を迎えたが、16 事業所より登録更新申請があった。審査の結果、15 事業所を登録更新可とし、1 事業所は審査中とした。

この結果、平成 29 年３月３1 日現在の認定登録事業所数は 72 事業所、内、第 1 種が 2 事業所、第 2 種が 70 事業所となった。

b) 嗅覚測定に用いる器材推奨マークの認証

嗅覚測定に用いる器材の品質及び性能を検査し、品質及び性能が嗅覚測定法に適合すると確認された製品への推奨マークの使用を許可する業務である。器材の生産者の自主的な品質及び性能の向上を図るとともに、使用者へ適切な器材に関する情報提供を目的としている。器材の推奨は 5 年毎に更新申請を受け付けており、平成 28 年度はにおい袋が 2 種、試料採取袋が 2 種、パネル選定用基準臭が 1 種の更新申請があり、更新検査の結果、これらすべてを合格として器材推奨マークの使用を認証した。

この結果、平成 29 年３月 31 日現在の器材推奨品は、におい袋が４種、試料採取袋が 5 種、パネル選定用基準臭が 1 種となった。

c) 嗅覚測定法の精度管理に関する技能研修会の開催

嗅覚測定法はヒトの嗅覚に基づく測定法であるため、社会的信頼性を確保する上では精度管理が非常に重要である。そこで、嗅覚測定法による測定事業者間の測定誤差を少なくする事を目的に、

臭気指数のクロスチェックを年１回実施している。各機関で測定されたデータを解析し、クロスチェックの講評を行い、測定結果の精度や真度の評価を行う技能向上研修会（第 16 回）を、平成 29 年 1 月 19 日（木）に東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催した。

クロスチェックには 129 機関（平成 27 年度 125 機関）が参加し、技能向上研修会には 85 人（平成 27 年度 96 人）が参加した。

3.1.5　臭気対策業務

a)　ひと目でわかる選択ガイド「脱臭装置」（脱臭ナビ）の公開

悪臭対策を検討している工場や店舗が脱臭装置を導入する際の参考技術資料として、生産者ごとに異なる性能等の表示内容を同一基準により評価し、簡単に比較検討できる情報として、「ひと目でわかる『脱臭装置』選択ガイド」データベース、通称「脱臭ナビ」をＷｅｂ上で無料公開している。脱臭装置メーカーからの申請に基づいて、脱臭技術を評価した上で登録している。

平成 29 年 3 月 31 日現在の登録数は 7 社、21 技術となっている。

b）　活性炭を用いた業務厨房用脱臭装置の消防法適合に関する検討

東京都消防庁の通知により厨房排気ダクト内に設置が禁止されている活性炭等、特定不燃材料に該当しない材料を用いた脱臭装置を、厨房排気ダクト内に設置することが可能となるよう、平成26年度より「厨房施設に関する脱臭についての検討委員会」を立ち上げ、その対応方法に関する検討を開始した。

平成28年度は委員会を２回開催し、活性炭等が特定不燃材料と認められるために必要とする試験方法、ダクト内延焼を防止するための防火設備の設置基準など、その対応方法に関する草案を策定するに至り、その経過を臭気対策セミナーで発表した。

c）　消脱臭性能を有する工業製品の審査・認定の検討

近年、消・脱臭効果を謳った工業製品が広く市場に出回っているが、それらの性能については必ずしも科学的な根拠が示されているとは限らず、また、効果判定基準や判定方法は確立されていない。そこで、平成 26 年度に「家庭用空気清浄機のにおいに関する性能の試験・評価方法の策定に関する検討委員会」を設立し、日本空気清浄協会等の関係機関で規定している性能試験方法や製造会社の要望を踏まえ、本協会が有する専門知識に基づき、においの強さの低減だけでなく、においの質の変質、快不快度なども含めた新たな試験評価方法の検討を行っている。

平成 28 年度は事務所移転等の関係で委員会を開催出来なかったが、平成 29 年度より委員会活動を再開する。

3.1.6　教育・啓発業務

子供達や一般の人々は、嗅覚の仕組みやにおいの役割等に関する知識が不足している。そこで、におい・かおりに関する研修会の開催、催し物への出展を通じて、におい・かおりに関する基本的な知識の普及、情報提供を行うことを目的として、以下の業務を行った。

a) 悪臭行政担当研修会の開催

公益社団法人日本騒音制御工学会と共催で、平成28年10月31日、地方自治体の担当者を対象に、においかおり環境に関する情報提供や意見交流を目的とした参加費無料の研修会を開催した。合計40市区の担当者が参加した。

b) 展示会への出展等

平成28年６月４日（土）、５日（日）の両日に開催された環境省主催「エコライフフェア2016」に「においの不思議を体験してみよう！」を主題としたブースを環境省水・大気環境局大気生活環境室として出展し、来場者に「かおりの足し算」など、かおりの不思議さを体験してもらった。また、芳香消臭剤作りを体験してもらうため、芳香消臭剤作成材料一式を400組準備し、来場者に配布した。

平成28年11月５日（土）から６日（日）の両日に開催された墨田区主催「すみだものづくりフェア2016」に、「五感で感じる“ものづくり”」を主題とした出展を行った。300人超の来場者に、芳香と消臭の原理を学びながらオリジナル芳香消臭剤を作ることを体験してもらった。

平成28年10月１日（土）から２日（日）の両日に開催された松戸市主催「松戸市環境フェスタ」に10月１日（土）のみ出展し、来場者に「かおりの足し算」等を体験してもらった。

c) 講師派遣等

本年度は、以下に示すとおり、講師として10件、検討委員として3件に派遣した。

依頼先	日程	項目	内容
千葉市	平成28年4月	委員派遣	環境影響評価（平成27年度から任期2年）
千葉県	平成28年4月	委員派遣	環境影響評価（平成27年度より任期2年）
環境省　環境調査研修所	平成28年６月	講師派遣	行政担当者向け臭気分析研修（4日間）
大同大学	平成28年4月～6月	講師派遣	機器分析・臭気対策に関する講義（前期）
東京都　動物愛護センター	平成28年7月	講師派遣	動物取扱責任者研修（全4回）
東京都 市環境・公害事務連絡協議会	平成28年7月	講師派遣	行政担当者研修会
（一社）土壌環境センター	平成28年10月	講師派遣	土壌の油臭体験
埼玉県環境部	平成28年11月	講師派遣	VOC及び悪臭対策
埼玉県	平成28年11月	講師派遣	行政担当者研修会
芳香消臭脱臭剤協議会	平成28年11月	講師派遣	臭気判定士制度
農水省	平成29年2月	委員派遣	委託プロジェクト検討
（独）農業食品産業技術 総合研究機構	平成29年2月	講師派遣	委託プロジェクト検討
須坂市	平成29年3月	講師派遣	企業対象の悪臭対策

3.1.7 かおり環境創造業務

かおりのよい樹木や草花の苗木を提供して、街づくりを支援するなど、快適なかおり環境の保全、

創造の支援を行うことを目的とした、環境省主催「みどり香るまちづくり企画コンテスト事業」を共催した。平成28年度は18件（平成27年度は23件）の応募があり、全国8箇所（前年9箇所）を選出し表彰した。

におい・かおり環境協会賞として、『花の香りで鼻を癒す　工業地帯に彩りを』（神奈川県横浜市）を選定した。

3.1.8　表彰業務

快適な生活環境の保全と良好なかおり環境の進展に著しく寄与した個人、法人、グループの功績を表彰する目的で、表彰業務を行っている。

平成 28 年度の各賞の受賞者は、以下のとおり決定した。

受賞名	受賞者（敬称略、順不同）
功労賞	平 井　光 代　（ひらい環境微生物研究所）
功労賞	岩崎好陽（故人）　（公益社団法人におい・かおり環境協会　前会長）
学術賞	関 根　嘉 香　（東海大学 理学部化学科　教授）
技術賞	一般財団法人畜産環境整備機構　畜産環境技術研究所
におい・かおり環境賞	大分香りの博物館

3.1.9　国際交流業務

平成28年９月に（一財）海外産業人材育成協会（以下、HIDAと略）の依頼により、上海市環境測定中心にて日本における臭気測定、臭気対策コンサルティング業務等の講演を行った。また、上海環境測定中心、上海市環境科学研究院、上海市化学化工学会より、中国における悪臭規制、測定状況等の講演があり、においかおり環境に関する情報交換を行った。

平成28年12月に来日した韓国環境公社の悪臭担当者（２人）を、堆肥化施設、商業施設等における脱臭設備等に案内した（滞在期間：1週間）。

HIDAの依頼により、平成29年２月に来日した上海市環境測定中心等の悪臭担当者（11人）を対象に、日本の研究施設、清掃工場、測定器材関係の企業、商業施設における脱臭設備等の見学会を実施した。（滞在期間：１週間）。なお、見学会初日には、環境省の講演があった。

3.2　公益目的事業２「支援・調査事業」

3.2.1　環境改善支援業務

におい・かおりに関する専門学術機関として、測定、調査研究、情報収集や学識経験者との交流に基づく豊富な知識を有すること、公益性が高く中立的な立場での判断が可能であることから、国、地方公共団体、事業者等からの依頼に基づく調査・研究・指導を行っている。

平成28年度は、以下の委託業務、請負業務を実施した。

a) 委託・請負業務

委託元	件数	内容
国	3件	悪臭公害防止強化対策検討業務
		被災地の臭気対策アドバイザー業務
		嗅覚測定法マニュアル更新業務
地方自治体	4件	清掃工場周辺臭気調査業務
		破砕処理センター 臭気対策アドバイス業務
		市内臭気調査及び対策検討業務委託
		悪臭防止法に基づく改善勧告等調査業務

3.2.2 技術支援業務

においの測定や悪臭対策等に関する専門知識を有し、かつ一定以上の実務経験をもつ者を「臭気対策アドバイザー」として審査・登録し、地方公共団体や事業者等から悪臭対策等の相談があった場合、当該相談内容に相応しい臭気対策アドバイザーを選定・派遣している。平成28年度は、以下のような派遣業務を行った。

依頼先	件数	内容
地方自治体	4件	劇場・ホール
		清掃工場
		食肉加工工場
		最終処分場
その他	2件	化学工場
		廃棄物処理工場

3.3 公益目的事業３「臭気判定士資格付与事業」

3.3.1 臭気判定士試験業務

悪臭防止法では、ヒトの嗅覚を使った臭気の測定方法である嗅覚測定法のスペシャリストとして、臭気判定士及び臭気判定士試験等について定めているが、本協会が臭気判定士試験実施指定機関として、環境省から指定されていることを受け、臭気判定士試験問題の作成、試験運営を行っている。

平成 28 年度は、以下のような業務を行った。

a) 平成 28 年度（第 21 回）臭気判定士試験の実施

試 験 期 日：平成28年11月12日（土）

試 験 実 施 地：東京都、名古屋市及び大阪市

試 験 の 内 容：嗅覚概論、悪臭防止行政、悪臭測定概論、分析統計概論、臭気指数等の測定実務

受験申請者数：686 人（うち 590 人が受験）

合格者数：168人

合 格 率：28.5%（受験者590人に対する割合）

合格基準：総合得点率70%以上、かつ各科目別最低得点率35%以上とした。ただし「臭気指数等の測定実務」の問51～55の５題（数値解答）は50%以上とした。

実施地別の受験者数等：

会　場	東　京	名古屋	大　阪	合　計	（参考）前年度
受験申請者数（人）	339	130	217	686	703
受験者数（人）	287	113	190	590	612
合格者数（人）	86	29	53	168	137
合 格 率（%）	30.0	25.7	27.9	28.5	22.4

b)　試験問題と正答の公表

臭気判定士試験受験の正答を、平成 28 年 12 月 12 日（月）から平成 29 年 2 月 13 日（月）までの期間、本協会のホームページにて公表するとともに、機関誌 No.251（平成 29 年 1 月発刊）において試験問題と正答の掲載を行った。

c)　臭気判定士試験合否の通知

平成 28 年 12 月 12 日（月）に合格者に「合格証書」を、不合格者にはその旨を通知するとともに、各自の科目別得点と合否判定基準も郵送した。

3.3.2　嗅覚検査業務

一般的な嗅覚の持ち主か否かを判定するための検査である嗅覚検査は、臭気判定士免状の交付、又は、免状の更新を受けるために必要な検査である。

本協会で嗅覚検査を実施する他、関連書類と受検者名簿の作成管理を行った。また、受検者の利便性を踏まえ、全国に嗅覚検査実施機関を設置しているが、その管理等を行った。平成28年度の検査実施件数は614件（平成27年度609件）であった。なお、実施件数は、本協会を含む全国41の嗅覚検査実施機関における累計件数である。

3.3.3　免状交付業務

臭気判定士免状の申請書類の管理、免状の交付、免状所有者名簿の管理や紛失などによる免状の再交付等を行っている。本年度までの免状交付状況は以下のとおりであった。

1）平成 28 年度末現在の試験合格者・・・5,067 人

2）平成 28 年度末現在の免状失効者・・・1,446 人

3）免状未申請者（臭気判定士試験合格者のうち免状申請をしていない人）・・・369 人

上記現在数は、平成 12 年度以前の臭気判定試験合格者で、かつ臭気判定士免状の交付を受けていない者で、かつ排出水に関する講習の未受講者（13 人）を含む。

4）平成 28 年度末現在における有効な臭気判定士免状所有者数・・・3,252 人

上記現在数は、平成 28 年度末現在の試験合格者から平成 28 年度末現在の免状失効者と免状未申請者を差し引いた値である。

（　参　考：委員会活動　）

委　員　会　名	開　催　日	議　題
におい・かおり環境学会委員会		
第 29 回		
第 2 回	平成 28 年 06 月 01 日（水）	第 29 回 学会準備
第 30 回		
第 1 回	平成 28 年 12 月 13 日（火）	第 30 回 学会企画
第 2 回	平成 29 年 03 月 21 日（火）	第 30 回 学会企画
編集委員会		
第 1 回	平成 28 年 07 月 08 日（金）	機関誌の編集企画について
第 2 回	10 月 24 日（月）	〃
第 3 回	平成 29 年 01 月 23 日（月）	〃
第 4 回	03 月 21 日（火）	〃
臭気測定認定事業所審査委員会		
第 1 回	平成 28 年 08 月 18 日（木）	登録更新について
第 2 回	11 月 07 日（月）	〃
第 3 回	平成 29 年 02 月 22 日（水）	〃
器材推奨マーク審査委員会		
第 1 回	平成 28 年 10 月 04 日（火）	新規申請器材の審査について
第 2 回	平成 29 年 03 月 16 日（木）	〃
飲食店厨房設備における脱臭に関する検討委員会		
第 1 回	平成 28 年 11 月 30 日（水）	試験方法の策定について
第 2 回	平成 29 年 02 月 27 日（金）	〃
表彰委員会		
功労賞選考部会	平成 29 年 01 月 23 日（月）	表彰候補者選定について
技術賞選考部会	01 月 24 日（火）	〃
学術賞選考部会	01 月 16 日（月）	〃
におい・かおり環境賞選考部会	02 月 03 日（金）	〃
平成 27 年度表彰委員会	03 月 10 日（金）	〃
臭気判定士試験委員会		
第 1 回	平成 28 年 05 月 26 日（木）	試験問題・解答の作成方法
科目別（B）	07 月 04 日（月）	試験問題・解答の作成
科目別（C）	07 月 05 日（火）	〃
科目別（E）	07 月 09 日（土）	〃

（　参　考：委員会活動　）

委　員　会　名	開　催　日	議　題
臭気判定士試験委員会		
科目別（D）	平成 28 年 07 月 12 日（火）	〃
科目別（A）	07 月 08 日（金）	〃
第 2 回	07 月 24 日（日）	試験問題・解答の調整
幹事会	08 月 17 日（水）	〃
臭気判定士試験問題最終確認	10 月 06 日（木）	〃
合否判定作業部会	11 月 28 日（月）	合否の為の資料作成作業
第 3 回	12 月 05 日（月）	合否の判定
臭気判定士試験問題確認委員会		
第 1 回	平成 28 年 08 月 06 日（土）	試験問題の確認
第 2 回	08 月 20 日（土）	〃
嗅覚検査委員会		
第 1 回	平成 28 年 11 月 07 日（月）	嗅覚検査の書類等確認